

科目名	地誌学Ⅱ（外国）	
担当者	岩船 昌起 / IWAFUNE, Masaki	
科目情報	人間文化＜歴史地理＞ / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	地理学の一分野である地誌学は、地域の個性を研究対象とする。本講義では、地誌学の視点と基本的な考え方を理解することを目標として、北アメリカを例に地誌構成要素の関連性について自然環境を中心に解説する。
	到達目標	①地誌学の視点と本質的な考え方を論述できる。②地誌学が表現する地域の個性・土地柄を地誌構成要素との関連で論述できる。③自然地理学や人文地理学に二分される系統地理学との研究方法の違いについて論述できる。
授業計画	(1) ガイダンス：授業の概要と成績評価の方法等 (2) 地誌学の研究方法，地理学の他分野との比較等 (3) 北アメリカの自然的基礎①：地形・地質と地誌 (4) 北アメリカの自然的基礎②：気候・気象と地誌 (5) 北アメリカの自然的基礎③：植生・土壌と地誌 (6) 北アメリカの自然的基礎④：動物と地誌 (7) 北アメリカの自然災害 - ハリケーンやトルネードなど (8) 人間と動物 - 国立公園などでの動物との共生 (9) 疾病・生気象から見た北アメリカの地域性 (10) 神話・民話からみたネイティブ・アメリカンの文化と地域性 (11) ヨーロッパ系アメリカンの文化と地域性 (12) アフリカ系アメリカンの文化と地域性 (13) ラテン系アメリカンの文化と地域性 (14) アジア系アメリカンなどの文化と地域性 (15) 総まとめ ※ 講義の進展に応じて，内容が加除修正される。	
自学自習	事前学習	・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業で紹介された本や論文等を読むこと。 ・博物館や史跡・名勝等を訪ね，現地で考えること。
使用教材・参考文献	【教】教科書を特に指定しないが，状況に応じて資料を配布する。 【参】状況に応じて参考文献等を紹介する。	
成績評価方法と基準	＜方法＞レポート50%，巡検レポート25%，小テスト25%を目安とする。 ＜基準＞レポートおよび小テストは，「到達目標」を基準として採点する。 巡検レポートに関しては，授業中に説明する。	
備考	野外授業（巡検）を実施する。参加できない受講者には，別の課題を設ける。 なお，本講義は地歴などの教職必修科目であるので，相対的に難易度が高い。	